



まごころ便り

令和7年10月6日
荒川区立第七中学校
学校だより 10月号
校長 千葉 貴

努力を成果として

荒川区立第七中学校
校長 千葉 貴

朝晩の風が心地よい季節となりました。保護者・地域の皆様におかれましては本校の教育活動にご支援をいただき、誠にありがとうございます。

先月9月25日(木)、第77荒川区立中学校連合体育大会が開催されました。

本年度は出場する生徒の負担を減らすために、出場選手の決定は希望制として学内選考をやめて、練習の内容を精査した上で練習の回数を減らし、本番を迎えました。

大会当日、選手は練習の成果を発揮し、多くの生徒が入賞し、更に男子総合5位、女子総合6位という昨年度以上の成果を収めることができました。陸上部がなく、学校規模の大きくない本校としては大変立派な成績でした。たとえ入賞という結果を得ることができなくても、自己記録を更新したり、ベストを尽くしたりして、ほとんどの生徒がやり切った充実感を感じてくれたと思います。

順位という結果にこだわらずに、努力したことが報われたという経験を通じて、自信につなげてほしいと思います。

さて、2学期がスタートし1カ月が過ぎました。生徒会役員選挙も終わり生徒会や部活動の主役は2年生になりました。これから生徒のみなさんは、委員会や部活動、学年・学級や自分の目標達成のために取り組むことと思います。仲間と協力し、励ましあいながらその目標に向かって主体的に努力してくれると信じています。

そして、10月18日(土)には合唱コンクールを実施します。

合唱コンクールは生徒・教職員とも大変に盛り上がる本校の伝統ある、大きな行事です。

かつての七中生の合唱の出来栄が良くなり、体育館ではなく、もっといい場所で生徒たちに歌わせてあげたいとの当時の鮎川校長先生はじめ教職員の思いから、平成4年頃より、サンパール荒川大ホールを使用するようになったという経緯があります。

生徒の保護者の方々とお話をすると「私も七中の卒業生です!」ということをたびたび聞くことがあります。七中でなくても当時の中学校では多くの学校で合唱コンクールを実施していました。参観に来られた保護者の皆様の当時の歌声がよみがえるようなコンクールできたら校長として嬉しく思います。

本校の学校行事は生徒による主体的な運営が伝統となっていますが、日ごろから主体的な態度で学校生活を送る七中生だからこそ実現できることだと思います。また、先輩が後輩の手本となるという、日々の積み重ねがあるからこそ学年が上がるにつれてレベルの高い合唱ができることも本校の伝統です。

当日は保護者・地域の皆様には、ぜひ、サンパールへお越しいただき、本校の生徒の演奏を楽しんでいただきたいと思います。

合唱コンクールを成功させ、生徒とともに、2学期を実りあるものにしていきたいと思います。